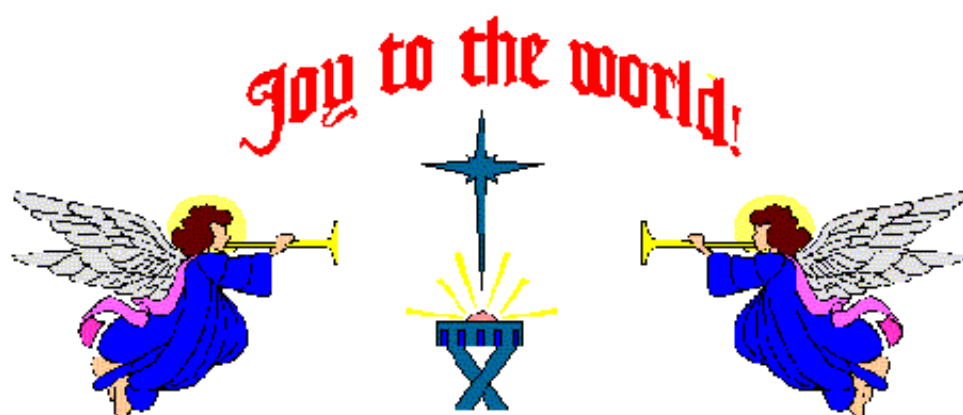


江刺保育園

聖誕劇

Christmas Pageant



2020年





Christmas Pageant



聖誕劇



登場人物

マリヤ		ひつじかい 1	
ヨセフ		ひつじかい 2	
		ひつじかい 3	
てんし 1		やどや 1	
てんし 2		やどや 2	
てんし 3			
てんし 4			
はかせ 1		かたりて 1	
はかせ 2		かたりて 2	
はかせ 3			





第1場面

かたりて 1	<p>はじめに言葉があった。言葉は神と共にあった。言葉は神であった。</p> <p>言葉の内に命があった。命は人間を照らす光であった。</p> <p>わたしたち「すみれ組」が演じるこの物語は、聖書に書かれている、イエス様のお誕生の出来事を劇にしたものです。</p>	
かたりて 2	<p>今から2019年前、イスラエルのナザレという村にマリヤさんという女の人がいました。マリヤさんは、ヨセフさんと結婚の約束をしていました。しかし、とつぜん、マリヤさんの前に、おおぜいの天使が、現れたのです。</p>	
てんし 1	マリヤよ、おめでとう。	
てんし 2	あなたに、かみさまの、おことばをつたえます。	
てんし 3	あなたは、もうすぐおとこのこをうむでしょう。	
マリヤ	そのようなことはゆるされないことです。わたしにはけっこんをやくそくした、たいせつなひとがいるのです。	
くびを横に振り、戸惑いながら		
てんし 4	うまれてくるあかちゃんは、かみさまのこどもです。	
てんし 1	ヨセフはすべてをうけいれています。	
てんし 2	なにもしんぱいすることはありません。	
マリヤ	いったい、わたしはなにをすればいいのでしょうか。ヨセフはわたしをゆるしてくれるのでしょうか。	
てんし 3	すべてをかみさまにまかせなさい。	
てんし 4	うまれるこどものなまえをイエスとなづけなさい。	
すこし、考えて(間を置く) 立ち上がり、会衆に向かってゆっくり礼をして話す。		
マリヤ	はい、わかりました。 かみさまにすべてをおまかせします。 かみさまの、おかんがえのとおりにしてください。	ゆっくりと話す。

天使・・・一回りして退場

幕



第2場面

かたりて1	<p>そのころ、ユダヤの国では、じぶんの生まれた所に行き、名前を登録しなさい という王様の命令があり、その国の人たちは、生まれたところに行かなければなり ませんでした。マリヤさんとヨセフさんも旅をしていました。そして、ベツレヘム という町に着きました。</p>
かたりて2	<p>あたりはすっかりくらくなっていました。宿屋はどこも旅人でいっぱいでした。 マリヤさんは天使のお告げのとおり、もうすぐ赤ちゃんが生まれそうになっていた のです。</p>
マリヤ	まあ、たくさんのひとたちですね。
ヨセフ	とおくの、まちやむらからきたんだね。
マリヤ	こんや、とまるところがあるでしょうか。
ヨセフ	しんぱいしないで。

手をつなぎ、幕の外にでる。宿を探す。

ヨセフ	こんばんは、こんばんは。
やどや1	はい、どなたですか。
ヨセフ	こんやひとばん、とめてください。
やどや1	たびびとでいっぱいです。べつのやどやにきいてください。
ヨセフ	こんばんは、こんばんは。
やどや2	はい、どなたですか。
ヨセフ	もうすぐこどもがうまれそうなのです。こんやひとばん、どこでも いいですからとめてください。
やどや2	それはたいへんそうですね。うまごやでもいいですか。
ヨセフ	たすかります。ありがとうございます。
やどや2	どうぞあがってください。こっちです、ついてきてください。

幕

賛美歌 「おとまりください」



第3場面

かたりて1	<p>そのころ、ベツレヘムの町外れにある山の草原では、羊飼いたちが、夜も寝ないで 羊の番をしていました。</p>
-------	---

羊飼い全員たき火をかこみ座っている。		
ひつじかい 1	しずかな、よるだなあ。	
ひつじかい 2	くらい、よるだなあ。	
ひつじかい 3	さむい、よるだなあ。	
ひつじかい 1	こんなよるに、はたらいているのはおれたちだけだ。 こんやは、なにかがおこりそうだなあ。	
羊飼い 1 立ち上がり、指差して言う		
ひつじかい 2	なにかひかるものがだんだんこっちにむかってくる。	
ひつじかい 3	さあ、みんなにげよう。	
羊飼い全員立ち上がる。横 1 列に並ぶ		
天使登場		
1 列に並ぶ。セリフを言う天使は手を上げ 1 歩前が出る。セリフを言ったら元の位置に戻る。		
てんし 1	ひつじかいたち、こわがることはありません。	星を掲げ 1 歩前が出る。
てんし 2	ダビデのまちベツレヘムに、ひとりのおとこのこが おうまれになりました。	星を掲げ 1 歩前が出る。
ひつじかい 1	ダビデのまちベツレヘムに	1 歩前が出る
天使全員、羊飼いを指さして		
てんし (みんな)	あなたがたのために	揃えて
ひつじかい 2	だれがうまれたのですか。	1 歩前が出る
てんし 3	おおくのひとたちが、まちのぞんでいた、すくいぬし イエス・キリストがうまれたのです。	星を掲げ 1 歩前が出る
ひつじかい 3	キリストがうまれたのですね。	1 歩前が出る
てんし 4	あのかがやく、おおきなほしをめざしてゆきなさい。	星を掲げ 1 歩前が出る
ひつじかい 1	そこに、キリストがいるのですね。	1 歩前が出る
てんし 1	そうです。そのこは、うまごやのなかでねむっています。	星を掲げ 1 歩前が出る
ひつじかい 2	どうして、そんなところでうまれたのですか。	1 歩前が出る
てんし 2	ひとびとが、かみさまのころをしるために。	星を掲げ 1 歩前が出る
てんし 3	ひとびとが、あいしあっていきるために。	星を掲げ 1 歩前が出る
てんし 4	せかいが、へいわになるために。	星を掲げ 1 歩前が出る
てんし 1	ひとびとが、きぼうをもち、しあわせになるために。	星を掲げ 1 歩前が出る
てんし 2	イエス・キリストがうまれたのです。	星を掲げ 1 歩前が出る
てんし (みんな)	さあ、みんなでおいわいにいきましょう。	星を掲げ 1 歩前が出る
ひつじかい 3	おれたちも、みんなて、おいわいにいこう。	1 歩前が出る
ひつじかい (みんな)	さあ、いこう。	その場で

賛美歌 「そらには、てんしの…」

歌い終わったら…天使、一回りして退場。その後、羊飼い退場

幕



第4場面

かたりて2	ひがし くに はかせ さんにな はな あ そのころ、東の国の博士たち三人が話し合っていました。	
博士1は机の前に立って空を見ている。 博士2、博士3は奥にある椅子に座っている。		
はかせ1	せんせいがた、ちょっとここへきてごらん下さい。 ふしぎなものがみえますよ。	
博士たちが集まる。		
はかせ2	なんですか、いったい。	
はかせ3	どうしたのですか。	
はかせ1	ええ、ほら、あそこをごらん下さい。	星を指さす
はかせ2	かがやいているおおきなほしがみえます。	
はかせ3	なにかのしらせでしょうか。	
はかせ1	わたしは、あんなにひかっているおおきなほしをみたことはありません。	
はかせ2	あんなにおおきなほしが、きゅうにあらわれるなんて。	
はかせ3	さっそく、しらべてみましょう。	
博士全員、聖書をめくって調べる。		
はかせ1	これだ、たしかにこれにちがいない。	
はかせ2	なにが、かいてあるのですか。	
はかせ3	「すくいぬしが、おおきなひかりのもとにうまれる」とかいてあります。	
はかせ1	あのほしが、すくいぬしのところへみちびいているのです。	
はかせ (みんな)	さあ、あのほしをめざして、すくいぬしにあいにいきましょう。	全員指さす

賛美歌 「おほしがひかる」

1番を歌い、2番に入ったらひとまわりして、退場。

幕

バックの絵を替える。



第5場面

かたりて2	<p>ここは、ベツレヘムの馬小屋^{うまごや}です。</p> <p>うまれたばかりのイエス様が飼葉桶^{かいばおけ}のなかで眠^{ねむ}っています。</p>	
ヨセフ	マリヤ、なんてかわいいあかちゃんだろう。	
マリヤ	ええ、ほんとうに	
ヨセフ	でも、どうしてこんなところで、うまれたんだろう。 なんという、みじめなゆりかごだろう。	
マリヤ	ほんとうに。 でも、ごらんなさい。このこは、とてもやさしい、 おだやかなかおをしていますよ。	抱き上げるゆ っくりとおお きな声で
ヨセフ	なまえはてんしがいったように、イエスとなづけよう。	
マリヤ	イエス、あなたはこれからどんなにけわしいみちを すすむのでしょう。 かみさま、このこが、ひとびとのこころに、しんこうと、 きぼうと、あいをあたえることができますように。 こころからおいのりします。	ゆっくりとお おきな声で
<p>天使登場、羊飼いやペンライトを持って登場。全員イエス様の前でお祈りしてから並ぶ (いそがない。ひざをついて頭を下げる。)</p>		
かたりて1	<p>こうして大きな星^{おほほし}に導^{みちび}かれて、羊飼いたちと、遠い東^{ひつじか}の国^{とおひがし}からやってきた博士^{はかせ} たちは、ベツレヘムの馬小屋^{うまごや}でおさないイエスさまにあうことができました。三 人の博士^{はかせ}たちがそれぞれ持^もってきたものは、黄金^{おうごん}、乳香^{にゅうこう}、そして死んだ人の体^{しひとからだ} につける薬^{くすり}、没薬^{もつやく}でした。</p>	
かたりて2	<p>このイエスさま^{さま}が、私^{わたし}たちに神様^{かみさま}を信じ^{しん}、そして愛^{あい}し合^あって生^いきることを、おし えてくださったのです。 イエスさま^{さま}は、いつまでも私^{わたし}たちと一緒^{いっしょ}にいるのです。</p>	

語り手、ペンライトを持ってステージにあがる。

てんし(みんな)	せかいがへいわになるように。
はかせ(みんな)	かみさまのしゆくふくで、せかいじゅうがみたされるように。
ひつじかい (みんな)	せかいじゅうのひとびとが、しあわせになるように。
マリヤとヨセフ	せかいじゅうのひとびとが、 「ひとにあいされ、ひとをあいする」ことができるように。
かたりて1,2 いっしょに	さあ、みなさん、こころをこめてクリスマスのさんびか 「きよしこのよる」をうたいましょう。

賛美歌 「きよしこのよる」 ギター：園長(前奏の後 歌う)

歌い終わったら、退場する。(語り手→天使→博士→羊飼いや→マリヤとヨセフ)



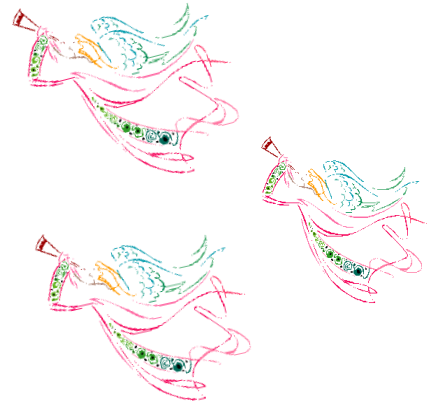
おとまりください

1. おとまりください ヨセフさん
おやすみください マリアさん
きれいなおへやじゃないけれど
かみさまがまもっておられます
2. せかいのみんなが まっていた
おさなごイエスさま うまれます
ほしのひかったふゆのよる
ユダヤのちいさなうまごやで



「そらにはてんしの」

1. そらにはてんしの うたごえひびく
すくいのみかみは ダビデのおらに
2. てんしのさんびは きよらにひびく
みかみにみさかえ ひとにはへいわ



「おほしがひかる」



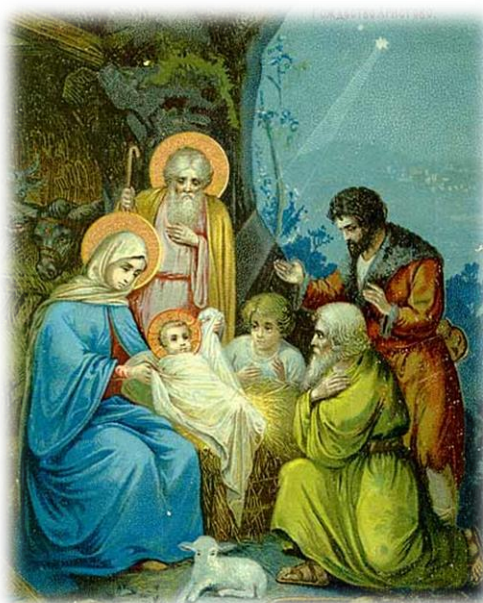
1. おほしがひかる ぴかぴか ふしぎにあかく ぴかぴか
なにがなにがあるのか おほしがひかる ぴかぴか
2. らくだがとおる かほかほ さばくのはらを かほかほ
どこへどこへいくのか らくだがとおる かほかほ
3. おほしがひかる ぴかぴか らくだがとおる かほかほ
そうだそうだこよいは めでたいきよい よるだよ



「きよしこのよる」

1. きよしこのよる ほしはひかり
すくいのみこは まぶねのなかに
ねむりたもう いとやすく

2. きよしこのよる みこのえみに
めぐみのみよの あしたのひかり
かがやけり ほがらかに





社会福祉法人 江刺保育園
2020年度版 聖誕劇シナリオ